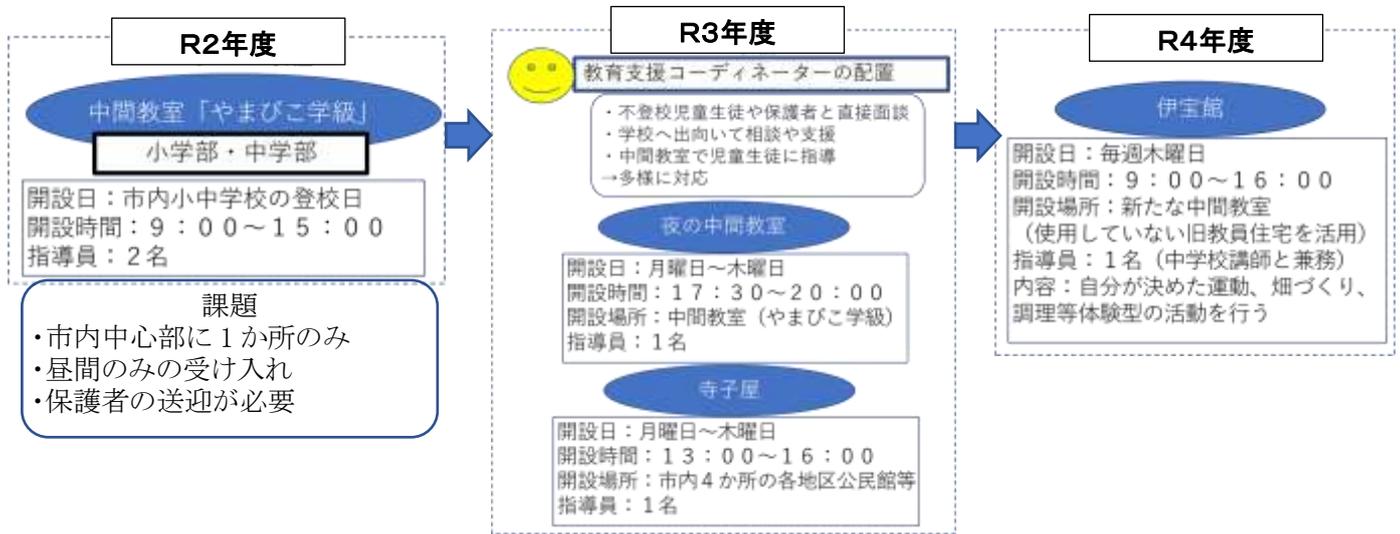


令和5年度不登校児童生徒に対する学びの継続支援事業

「第1回 市町村教育委員会への支援の仕組みづくり説明会」(R5.5.12) 報告

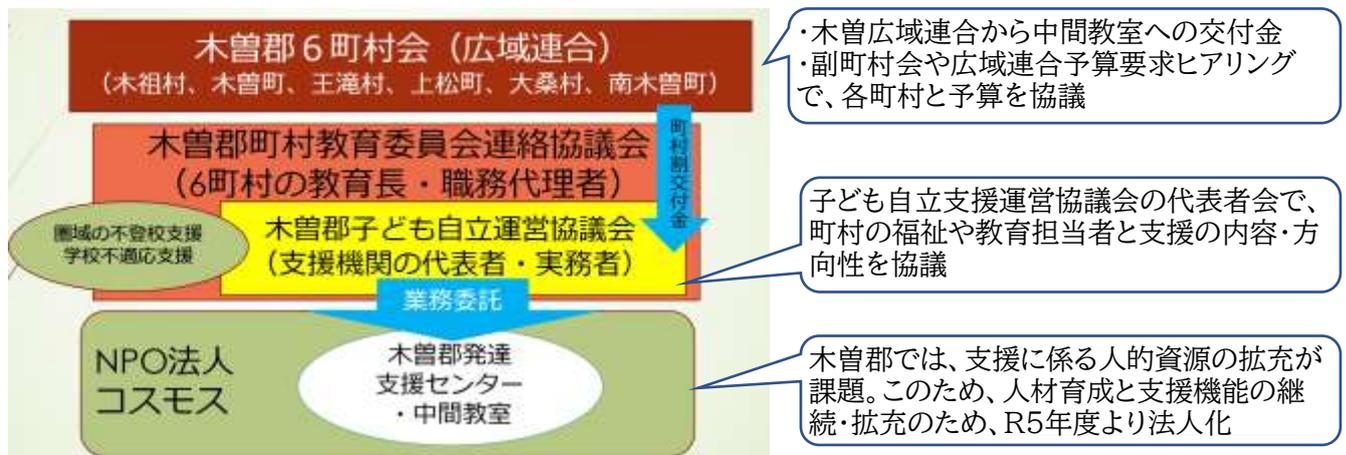
1 伊那市教育委員会の発表「不登校児童生徒のための中間教室の多様化を模索して」

(伊那市教育委員会事務局学校教育課 教育支援コーディネーター 北澤 喜宏さん)



2 木曽郡発達支援センター中間教室の発表「木曽圏域における不登校児童生徒への支援」

(NPO法人コスモス 木曽郡発達支援センター・中間教室 長野県発達障害がいサポート・マネージャー 武居 竹生さん)



3 参加した市町村からの感想

- 伊那市の取り組みを聞くと、公民館に来る児童は、不登校の児童だけではないようである。本市内の小学校でも、学校内で、児童の宿題を手伝う「寺子屋」的取り組みをしているところがあるが、公民館という学校以外の場所であるなら、不登校児童にとっても敷居が低くなり、新たな学びの場となる可能性を感じた。
- 本市は広く大きい。中間教室は市街地にあり山間部等の子ども達にとっては送迎の手段が無くて来たくても来られない場合も考えられるので、伊那市のような公民館を借りての寺子屋や夜の中間教室等とても画期的で参考になった。
- 木曽での取り組みが大変参考になった。本市では、不登校にかかわる関係者に参集いただいての情報共有会をスタートさせた。今後、北信広域連合内の育ちネットワーク事業との連携も図りながら、学びの環境づくりと不登校児童生徒への支援の継続を進めていきたい。
- 本村は小学校1校、中学校1校の山間地の小さな村である。「木曽圏域における不登校児童生徒への支援」の発表は大変参考となった。後半のグループワークが近隣の村での話し合いであったため、北部3村で、木曽圏域のような取り組みや村の連携ができると良いと感想を述べあい、直ぐにはあのような仕組み作りは無理だが、できるところから連携していこうと話し合った。
- 本市周辺市町村のいずれもが、「中間教室」という名称の改変について検討している。子どもたちの居場所について必ずしも学校でなければならない、学校へ戻る事がゴールであるという考え方では複雑化した社会の中で生きる子どもたちのニーズにはこたえられない現状の中で、「言葉」の背景にある慣習的思考を見直していく必要がある。

令和3年度 都道府県別 教育支援センター設置状況

【小学校・中学校（国公立）】

(B)÷(A)×1,000

(参考)

順位	都道府県	(A)在籍児童生徒数	(B)教育支援センター設置数	千人当たり設置数	不登校数	1,000人当たりの不登校児童生徒数	不登校児童生徒数千人当たりの設置数
1	高知	48,407	26	0.537	1,508	31.2	17.241
2	長野	158,187	64	0.405	4,707	29.8	13.597
3	鳥取	43,136	17	0.394	1,053	24.4	16.144
4	福井	61,148	22	0.360	1,087	17.8	20.239
5	山形	77,409	24	0.310	1,554	20.1	15.444
6	佐賀	69,833	21	0.301	1,640	23.5	12.805
7	岩手	86,485	24	0.278	1,679	19.4	14.294
8	新潟	159,871	44	0.275	3,854	24.1	11.417
9	島根	51,851	14	0.270	1,551	29.9	9.026
10	茨城	219,061	59	0.269	6,411	29.3	9.203
11	山梨	59,527	16	0.269	1,617	27.2	9.895
12	熊本	145,426	39	0.268	4,151	28.5	9.395
13	宮城	172,193	46	0.267	5,218	30.3	8.816
14	群馬	146,573	39	0.266	3,833	26.2	10.175
15	宮崎	90,498	24	0.265	1,878	20.8	12.780
16	秋田	61,147	16	0.262	1,343	22.0	11.914
17	静岡	281,915	73	0.259	8,221	29.2	8.880
18	岐阜	157,587	40	0.254	4,371	27.7	9.151
19	鹿児島	134,923	34	0.252	3,062	22.7	11.104
20	徳島	52,031	13	0.250	1,327	25.5	9.797
21	和歌山	68,099	17	0.250	1,664	24.4	10.216
22	山口	99,030	24	0.242	2,603	26.3	9.220
23	香川	74,825	18	0.241	1,514	20.2	11.889
24	青森	84,400	20	0.237	1,910	22.6	10.471
25	石川	87,242	20	0.229	2,422	27.8	8.258
26	富山	74,373	16	0.215	1,837	24.7	8.710
27	滋賀	121,930	26	0.213	2,983	24.5	8.716
28	大分	87,371	18	0.206	2,415	27.6	7.453
29	栃木	147,835	30	0.203	4,214	28.5	7.119
30	岡山	149,349	28	0.187	3,138	21.0	8.923
31	北海道	356,792	62	0.174	10,582	29.7	5.859
32	兵庫	426,215	71	0.167	11,700	27.5	6.068
33	福島	132,881	21	0.158	2,918	22.0	7.197
34	愛媛	101,573	16	0.158	2,233	22.0	7.165
35	長崎	104,671	16	0.153	2,457	23.5	6.512
36	三重	138,275	21	0.152	3,240	23.4	6.481
37	広島	225,007	33	0.147	5,763	25.6	5.726
38	奈良	102,603	15	0.146	3,001	29.2	4.998
39	埼玉	551,279	72	0.131	11,362	20.6	6.337
40	千葉	465,768	60	0.129	10,138	21.8	5.918
41	京都	189,717	24	0.127	4,465	23.5	5.375
42	福岡	420,915	51	0.121	12,299	29.2	4.147
43	愛知	615,634	74	0.120	16,959	27.5	4.363
44	沖縄	151,058	18	0.119	4,435	29.4	4.059
45	東京	945,347	97	0.103	23,261	24.6	4.170
46	神奈川	681,451	63	0.092	17,253	25.3	3.652
47	大阪	648,304	48	0.074	18,109	27.9	2.651
計		9,529,152	1,634	0.171	244,940	25.7	6.671

※「令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果について」(文部科学省初等中等教育局児童生徒課 R4.10.27)をもとに作成